

「春キャンペーン 誘客プロモーション業務」 企画コンペ仕様書

平成26年7月

1. 総則

1.1 業務の件名

「春キャンペーン誘客プロモーション業務」（以下「本業務」という）とする。

1.2 仕様書の目的

本仕様書は、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下「OCVB」という）が受託事業者に委託する本業務に関する仕様を示すものとする。

2. 業務概要

2.1 業務の目的

沖縄県は、国内入域観光客数と、県内消費額や、平均滞在日数の向上を目標としており、本業務においても春の沖縄の魅力を広く発信し、国内における沖縄県への安定的な誘客と観光経済効果の向上を図ることを目的とする。

2.2 業務の概要

本業務においては、ターゲットを「親子孫の三世代旅行」と定め、離島を含めた「春の沖縄」の魅力を見出し、春の旅先としてのイメージを定着させそれを広く発信することで、従来の沖縄観光のイメージにとらわれない新たな需要を掘り起こし、沖縄旅行未経験市場の開拓及び、リピーターの再訪促進を通して、国内における沖縄県への安定的な誘客と観光経済効果の向上を図る。

2.3 業務委託の範囲

本仕様書が規定する業務委託の範囲は次のとおりとする。

- (1) 業務目的や誘客ターゲット、誘客期間を考慮した、メディアプロモーション等の広報企画の実施。

※アンケート等により、事業効果が測定できる企画とすること。

- (2) キャンペーンサイト「旬香周島おきなわ」での特集 Web コンテンツ作成

※Web 管理に関する業務は、別途採択する「キャンペーン Web サイト管理運営業務」委託事業者と協議の上、コンテンツの内容を定め、選定事業者は、写真素材や原稿を作成、提供し、ディレクションの立場で共同制作を行う。制作にかかる実務的な作業は「キャンペーン Web サイト管理運営業務」委託事業者が行うものとする。

- (3) Web 上での「旬香周島おきなわ」キャンペーン展開（企画及び誘導施策）
- (4) 旅行会社店舗やイベント等で設置、配布する PR ツールの作成

ア. PR用リーフレット（イメージ訴求、春のイベント・食材等の紹介など） 60,000 部

イ. スウィングPOP（パンフレットラック等に設置できるもの） 4,000 部

ウ. その他、広報展開の必要に応じて提案作成

※各社提案企画の必要に応じて、内容、サイズなど提案すること。

※上記部数は当財団で使用する最低限の部数となるため、本プロモーションにおいて使用する部数については必要に応じて追加提案すること。

(5) 旅行会社など関連事業者への PR 用データの提供（制作画像など）

(6) 委託業務全体を統括する担当 1 名の配置

(7) 業務完了報告書の作成

※個別の実施内容や事業効果とともに、業務全体の分析・報告を取りまとめること。

※業務にかかった費用内訳およびその支払を証明する証憑書類（見積書、納品書、請求書、領収書、根拠資料等）を提出すること

例）・外注先企業等からの請求書

・外注先企業等への支払証明書 など

(8) その他、業務実施にあたり OCVB と協議の上、業務遂行に必要とされる業務。

2.4 成果物等一覧

受託事業者が提出すべき成果物等は表 1 のとおりとする。

表 1 成果物等一覧

項 目	内 容
コンテンツデータ	作成した広告、記事、Web サイト等の電子データ
素材データ	本業務で使用した映像、写真、図版素材の電子データ（非圧縮）
PR ツール	リーフレット、スウィング POP 等（各 5 点）
業務完了報告書	本業務の効果を検証した報告書
その他	業務に伴い作成した成果物（各 5 点）

2.5 スケジュール

受託事業者は平成 27 年 3 月 9 日（月）までに受託内容の実施を行い、平成 27 年 3 月 11 日（水）までに業務完了報告を行うこと。

2.6 瑕疵担保責任

OCVB への引き渡し日から起算して 1 年の間、成果物に瑕疵があるときは、受託事業者は無償で当該成果品の修補を行うこと。

2.7 著作権・特許等

- (1) 受託事業者は、本業務で作成された成果物に関し、すべての著作権（財産権）を、OCVB に無償で譲渡するものとする。ただし、委託前から受託事業者の構成者が権利を有する著作物及び第三者が権利を有する著作物を利用する場合は事前に OCVB の承諾を得るものとする。
- (2) 受託事業者は、OCVB の同意を得なければ、著作権法第 18 条及び第 20 条に規定されている権利を行使することができない。
- (3) 本業務作成物で使用する文章、写真、図版などは全て沖縄県及び OCVB 内での利用、或いは沖縄県又は OCVB が観光振興に資すると判断した上で第三者への提供が可能なもののみを使用する。
- (4) 本業務の成果物の使用期限は設けないものとする。
- (5) 本業務の成果物に係る著作権、特許権その他の知的財産権に関する一切の紛争については訴訟費用を含めすべて受託事業者において責任を負うものとする。
- (6) 著作権法上、上記条件を満たさないデータの使用は禁ずる。
- (7) 上記条件を満たすのに費用が過大となり、十分な広報展開ができないことが見込まれる場合においては、協議するものとする。


3. 要求仕様

3.1 概要

本業務においては、誘客ターゲットを「三世代旅行」と定めており、その市場の特徴を踏まえたプロモーションを実施する。また、民間事業者との差別化を明確にし、沖縄県・OCVB としてふさわしい内容とする。

キャッチコピー：春のおきなわ「親子孫たび」

ロゴ（データ添付）：

	<p>〈ターゲット層〉 孫（※未就学児）、親（20代～40代）、祖父母（50代～70代） 〈コンセプト〉 親孝行したい親世代、孫とふれあいたいという祖父母のニーズに応え、3世代一緒に楽しめる、安全で過ごしやすい春の沖縄のイメージを訴求する。</p>
想定受入期間	2月～6月
想定される企画例	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父母世代と孫世代と一緒に楽しめる体験プログラム（自然、文化、工芸体験等） ・ホテル、施設の充実（キッズ向けサービス、バリアフリーなど） ・未就学児対応可能なマリンアクティビティ ・ビーチ散策 ・屋内レジャー

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離島観光 ・ 沖縄独自の食文化を楽しむ ・ 過ごしやすい季節（花粉が少ない） ・ 家族写真撮影（琉球衣装、おすすめの撮影スポットの紹介等）
--	--

※「想定されるコンテンツ例」は、あくまでも例として提示しているため、必ずしもこの内容での提案を指定するものではない。

3.2 内容

本仕様書が規定する企画提案内容は以下の通りとする。

- (1) 次年度以降の春プロモーションにおいても発展と継続的な効果が見込める企画内容。
- (2) 企画提案の根拠となる企画背景（マーケティング資料等）
- (3) 「春の沖縄」の魅力を具体的に紹介し、「三世代旅行」の需要を喚起する特集 Web コンテンツの提案。
 ※キャンペーンサイト「旬香周島おきなわ」や、観光情報 Web サイト「おきなわ物語」の特集記事を参考に、既存コンテンツの活用についても考慮すること。
- (4) ターゲットと誘客期間を考慮し、以下の項目を網羅した「春の沖縄」の広報企画の提案
 - ア. 本業務の目的やターゲットに合った広報対象地域の設定。
 - イ. 離島地域を含めた沖縄県全体のプロモーションにつながる広報企画。
 - ウ. 春の旅先としてのイメージを定着させ誘客につながる広報企画。
 - エ. 観光経済効果の向上につながる広報企画。
 - オ. キャンペーンサイト「旬香周島おきなわ」への誘導につながる広報企画。
 - カ. Web を活用した、話題性・拡散性のある広報企画。
 ※テレビなどの各種メディアや店頭プロモーションなどを提案する場合は、媒体側や店舗から、実現性の承諾を得る事。
 ※各種メディアやイベントなどのプロモーションを提案する場合は、提案内容・金額の経済性や妥当性の根拠となる、定価等の情報についても記載すること。
 ※別業務にて「旬香周島おきなわ」サイト上での通年実施を予定している「プレゼントキャンペーン」（春キャンペーン期間 12 月中旬から 2 月下旬）も考慮すること。
 ※メインビジュアルについては、別業務で制作する春キャンペーンポスター(10 月中旬納品予定)を利用すること。
 ※別業務にて作成するキャンペーン映像（10 月下旬納品予定）も使用可能。
 ※別業務にて Facebook 広告の実施を予定している。
 ※自治体等が行う公的なキャンペーンとして適正な内容とすること。
- (5) プロジェクトスケジュール
- (6) スケジュールや実施内容を加味した企画実施体制
 ※企業名・個人名は明記せず、役職や担当業務、人数などにより体制を記載すること。
 ※一部業務の外部委託を行う際は、発注先が県内事業者か県外事業者かを明記すること。

(7) 具体的にどれだけの誘客に結びついたのかを示す、事業効果測定の手法及び報告方法

※提案企画の中で OCVB が行なう業務がある場合は、企画書に明確に明記すること。

3.3 注意事項

提案内容については、以下の点に留意すること。

- ・契約候補者として選定された場合においても、提案のあった企画の内容をすべて実施することを保証するものではない。
- ・パンフレットや Web サイト等、本業務にて使用する図版及び写真は、原則として契約事業社が用意すること。
- ・掲載内容の情報については、契約事業社が責任を持って文字校正（情報内容の確認）を行い、必要に応じて OCVB も校正を行う。
- ・本業務にて作成する印刷物等に使用する図版及び写真については、二次使用が可能なこととする。（写真データについては電子納品をし、OCVB ウェブサイトおきなわ物語への掲載および OCVB が認める他の媒体での使用が可能であるもの）
- ・本仕様書に記載の業務内容は、企画提案のために設定したものであり、実際の契約の仕様書とは異なる場合がある。
- ・本仕様書記載の業務内容については、実施段階において、予算や諸事情によって変更することがある。

以上